

直方文化財散歩・記念碑巡り
上境原の築堤記念碑

記念碑の所在地

田川バイパスを田川方面に向かって走り、養護学校入口の信号から更に南下して大字上境の「福地神社」に向かつて左折し、鳥居の右側のバイパスの陸橋の手前に立っている大きな石碑です。

記念碑の名称および建立時期

この記念碑は「上境原の築堤記念碑」と呼ばれ、明治三十二（1899）年に松浦周作らの呼び掛けにより建立されました。当初は現在の西鉄バス筑前上境バス停に近い福地橋付近にありましたが、後に現在地に移されたと記録されています。

記念碑の文言（要約）

この記念碑については、直方の郷土の歴史を長年にわたって市報に連載された舌間信夫先生が昭和五十九（1984）年六月月号に掲載され、翌年九月に「直方碑物語」として出版されましたが発行後に相当の年月が経過しましたので改めて漢文の要約を掲載します。

『福地村大字上境の五反田、助国、保喜原は広い畑ですが、年月とともに荒れはてて、農作物のかわりに作られていた櫨の木も思うように実をつけず、耕作しても無駄で、荒れるにまかせられていました。』

この村の住人占部三折氏は、この事を変心配し、雨の降るたびに、どこが乾き、どこに湿りが残るかを研究し、築堤のための試案を作り、明治十三（1880）年秋、村民大会を開いて、原の奥の佐屋原に溜池を造り、灌漑の便をはかり、荒地を田に変えようと提案しました。

しかし、議論が百出し、直ぐには決まりませんでした。

三折氏は、将来はきつと櫨の実の値段が下がり、田地の値段が上がるからと、皆を説得し、ようやく村人の同意を得、工事が始められ、明治二十四（1891）年溜池が完成、畑が田に変わり、大いにこの村の役に立ちました。

同じ年の秋、三折氏は、もう一つ中長谷に溜池を作ること計画、村会に提案しました。村人もこれに賛成、占部氏を長とする七人の委員が選ばれました。

占部氏は私財をなげうち、委員の先頭に立って土木工事を進め、やが

て中長谷の溜池が完成しました。これによって東原、西原の広い荒地が豊かな水田に変わりました。その面積は二十余町で、毎年獲れる米麦は千数百俵にのびりました。

委員の方々の熱血によって村が大いに発展し、上境の不朽の基本がここに確立されたのです。』

この記念碑の意義

日頃何気なく通り過ぎる各地の溜池も郷土の先人たちが農業振興に尽くした努力の賜物であることを記した極めて珍しい記念碑です。

また高さ七・五メートルの花崗岩製の美しい石碑です。



上境原の築堤記念碑
(福地神社前)

直方の歴史と文化

文 榊 正 澄

文化財に関する問い合わせ…文化・スポーツ
推進課社会教育係 (TEL 25-23326)インターネット
情報提供サービス

SNSやウェブサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるのがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで

人の動き

■人口 56,116 人（－352） ■世帯数 27,394 世帯（＋78）
[うち外国人 608 人]

男 26,477 人（－222）
女 29,639 人（－130）

令和3年5月末現在
() は前年同月との比較

<発行>直方市

〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号

URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>

<発行日>毎月1日(月1回)

<編集>秘書広報課秘書広報係

TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107

E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp

<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

UD FONT